

# 時代の記憶

【みよしの】

札幌の親戚の家に遊びに行ったのは、小学校低学年の頃。「晩ご飯は、餃子ね」と叔母さんが両家の子供たち6名を集め、餃子の仕込みを始めた。満州からの引き揚げ者であった親戚の家庭では、皮、あんは全て手づくり。それも総勢11名分だから、半端じゃない量だった。親戚の家の子供たちは慣れたもので、さっさとあんを皮に包んでゆく。私たち兄弟は勝手が分からず、上手く包めない。そもそも生まれてこの方、「餃子」なるものを食べたことはもちろん、見たこともなかったのだ。

なんとか皆でわいわい楽しくやりながら、やっと完成。子供の手のひらほどの大きな餃子を沸騰した湯が入っている大きな鍋に投入。水餃子となり、酢醤油で食べる。初めて食べる餃子は、素晴らしく美味かった。次の日の朝、残った餃子が焼かれて食卓に並んだのを覚えている。

それが私の餃子初体験だ。

大人になって自分の意思で餃子を食べたのは、昭和55(1980)年頃、札幌に移り住んでから。友人とすすきのに繰り出し、日劇ビル1階にあった『みよしの』で食べた「ぎょうざカレー」だったと思う。値段は覚えていないが、とにかく安くて旨かった。そのうちに、すすきので飲んだ帰りに「おみやげぎょうざ」を買うようになった。〆はラーメンじゃなく、餃子にビール。

ある時、東京から遊びに来た友人に「ホテルに戻ってから食べて」と渡したら驚いていた。こんなに旨い餃子が東京にあったらいいのに、と。私は嬉しくて、以来、道外から遊びに来る友人たちに「おみやげぎょうざ」を渡すことが定番になった。



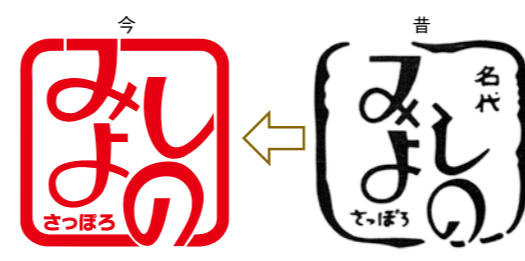
「安く!早く!おいしい!」の三拍子揃った「みよしの」は昭和42年に産声を上げた。(写真は昭和50年代)



昭和61年、スーパー内のテナント店。ファストフード感覚で餃子を味わうスタイルはたちまち人気に。

ぎょうざといえは「みよしの」。札幌市民に愛されて、今年で45年。

おなじみのロゴマークも、時代に合わせて進化。



万人に愛される餃子とカレーを融合した「ぎょうざカレー」は「みよしの」の定番に。

カレーと餃子をドッキングするという新発想はたちまち人気メニューに。

きのうぎょうざ。きょうカレー。新しい味、もうお試しですか。ぎょうざカレー、びっくり値段で大好評。

みよしので味のレポートが広がっています。新しい味はカレー味。ぎょうざプラスカレーのいきいきコンビです。一説によれば、カレーに初めて福神漬をそえて出した帝国ホテルさん以来のヒットとか。あなた、もう試されましたか、新しい味。

●びっくりカレー...190円  
●ぎょうざカレー...260円

おかげさまで開店10周年

みよしの 名代 さっぽろ

札幌・小樽・旭川・江別

※新聞広告はすべて昭和50年代

より安く!より旨い!よりお近くで!!

値下げ

今も馴染みの日劇店は昭和45年に開店。かれこれ41年目!

いま、150円位で買えるものといえば...

●セブンスター1箱●週刊誌1冊●コロケ3個●マーガリン(225g)1箱●台所洗剤(800ml)1本●ハンスト1足●甘塩さけ(100g)●牛乳(180ml)3本●クラッカー(200g)1袋●豚肉肩ロース(100g)●ティッシュペーパー(400枚)1箱●サララップ(20cm)●バチンコ球50コ●ホネケーキ1コ●さつまいも(500g)1コ●ボールペン3本●大学ノートB版1冊●トイレットペーパー(4ロール)●おはぎ2個●レモン3コ●紳士ブリーフ1枚●スプライトホームサイズ2本●クリーニング代(ワイシャツ1枚)●とうふ3コ●上白糖1kg●ハイオクタンガソリン(1リ)etc

みよしのぎょうざなら1人前(6個入)150円です。

昭和52年当時、ぎょうざ1人前150円。セブンスター1箱分という良心価格だ。

昭和50年代に大ヒットした、「おみやげぎょうざ」。

すすきので飲んだ帰りのお土産に、手頃な「おみやげぎょうざ」が大人気だった。当時、他には、高価な寿司折か天津甘栗ぐらいしかなかった。

昭和52年頃の「ぎょうざ弁当」、「みよしのシューマイ」(現在は販売終了)のパッケージ。

- 昭和初期
  - 1945(昭和20年) 大衆食堂、甘味店として狸小路にて営業を開始。
  - 1945(昭和20年) 狸小路にて甘味店の営業を開始。太平洋戦争終結。
  - 並木路子の「リンゴの歌」が大ヒット。
- 1962(昭和37年) 前身となる(南)山田商事設立。中尾ミエの「可愛いベイビー」流行。
- 1967(昭和42年) 餃子専門店「みよしの」3条店スタート。ミニスカート、グループサウンズ大流行。
- 1970(昭和45年) 「日劇店」開店。
- 1972(昭和47年) 「狸小路店」開店。札幌冬季オリンピック開催。
- 1973(昭和48年) 「株式会社」設立。オイルショック騒動。
- 1975(昭和50年) 「(株)テンドーサービス」に社名変更。「港のヨー・ヨコハマ・ヨコスカ」大ヒット。
- 1977(昭和52年) 「みよしのカレー」販売スタート。有珠山大噴火。ピンククレディが大ヒット。
- 1978(昭和53年) 「肉しゅうまい」販売スタート。植村直己、犬ぞり単独行で北極点に到達。
- 1983(昭和58年) CI・食器などイメージ一新。NHKドラマ「おしん」が爆発的人気に。
- 1987(昭和62年) 新社屋、工場を東区本町に落成。ゴッホの「ひまわり」、53億円で日本企業が購入。
- 1988(昭和63年) スーパーマーケット向け商品「スーパーチルドぎょうざ」発売開始。青函トンネル開通。
- 1990(平成2年) スーパーマーケット向け商品「スーパーチルドしゅうまい」発売開始。湾岸戦争始まる。
- 1993(平成5年) 郊外型大型店の第1号店「清田店」開店。貴花田、史上最年少大開店。
- 2007(平成19年) 「チルドしゅうまい」販売再開。郵政民営化がスタート。
- 2011(平成23年) ドライフスルー併設「美園店」開店。なでしこジャパン、FIFA初優勝。

みよしのの歴史で振り返る時代の变迁